

令和2年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会 事業報告

I 協議会の開催・運営

○ 令和2年5月22日 第6回百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会（書面開催）

【議案】

- (1) 令和元年度決算について
- (2) 百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会作業部会設置要綱の改正について
- (3) モニタリングの実施について

【報告】

- (1) 第43回世界遺産委員会決議における追加的勧告への対応について

○ 令和3年3月26日 第7回百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会（書面開催）

【議案】

- (1) 2019年（令和元年）及び2020年（令和2年）モニタリング年次報告について
- (2) 令和2年度事業報告について
 - I 協議会の開催・運営
 - II 学術委員会の開催
 - III ユネスコへの報告
 - 定期報告
 - 保存状況報告
- (3) 令和3年度事業計画・予算について

【報告】

- (1) 令和2年度決算見込について

II 学術委員会の開催

世界遺産、考古学、都市計画等の専門家からなる委員会を開催し、学術的な見地から資産及びその周辺環境の保存管理と整備活用に関する助言、報告をいただいた。

【開催日】

- | | |
|------|------------------|
| 第7回 | 令和2年4月24日（書面） |
| 第8回 | 同 10月8日（一部リモート） |
| 第9回 | 同 12月15日（一部リモート） |
| 第10回 | 令和3年3月2日（一部リモート） |

【委員】

岡田 保良	国士舘大学 名誉教授 (委員長)
和田 晴吾	兵庫県立考古博物館 館長 (副委員長)
稲葉 信子	筑波大学 名誉教授
田中 哲雄	日本城郭研究センター 名誉館長
西村 幸夫	國學院大学 教授
福永 伸哉	大阪大学大学院 教授
増田 昇	大阪府立大学 特認任教授
宗田 好史	京都府立大学 教授
ウェルナー・シュタインハウス	広島大学 客員准教授

【主な議題】

- ・モニタリングについて
(構成資産、緩衝地帯、来訪者への対応に関するモニタリングの実施方法・様式案、モニタリング結果をとりまとめた年次報告案等)
- ・遺産影響評価について
(遺産影響評価の枠組み及びマニュアル、大仙公園基本計画の遺産影響評価等)
- ・来訪者受け入れ等について
(百舌鳥エリアにおけるガイダンス施設整備等事業等)

III ユネスコへの報告 (※すべて英文による)

○ 定期報告

来年度、アジア地域が審査対象となる定期報告*第3サイクルについて、百舌鳥・古市古墳群の回答を提出。

*定期報告：世界遺産条約締結国として、世界遺産一覧表に記載された資産に関して、その保全状況及び世界遺産条約の履行のために実施した行政措置などを6年ごとに報告する取組み。

○ 保存状況についての報告

世界遺産一覧表への記載が決定した第43回世界遺産委員会のイコモス決議で示された追加的勧告のうち、対応や進展のあった峯ヶ塚古墳の緩衝地帯の範囲拡大、自転車博物館及び百舌鳥エリアガイダンス施設計画の変更並びに大仙公園基本計画改定にかかる遺産影響評価に関して、保存活用会議からの報告に基づき、文化庁を通じてユネスコへ情報提供。(※別添資料のとおり)